

4 インチ 業務向けハンドヘルドターミナル

HT730 (29 キー /38 キー)



29 キーモデル



38 キーモデル

改訂履歴

Version	改訂履歴
1.0	● 初版
1.1	● USS リンク追加
1.2	● バッテリーステータス / ヘルスサービス / バッテリーノート追加
2.0	● 日本語正式版リリース

第 1 章 はじめに

1.1 本マニュアルについて

ユニテック製品をご購入いただきありがとうございます。

このマニュアルでは、製品のインストール、操作、およびメンテナンス方法について説明しています。

本書のいかなる部分も、複写、記録、情報の保存および検索システムなど、いかなる形態または電氣的または機械的手段によっても、製造元の書面による許可なく複製または使用することはできません。このマニュアルの内容は予告なしに変更されることがあります。

1.2 認証について

1.2.1 FCC 警告について

このデバイスは、FCC 規則のパート 15 に準拠したクラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることをテストし確認いたしました。これらの制限は、居住用の設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（機器の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
 - 機器と受信機の間を離す。
 - 機器を受信機が接続されている別の回路のコンセントに接続する。
 - ディーラーまたは経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談する
1. この送信部を含むデバイスを、他のアンテナまたは送信部を含むデバイスと同じ場所に配置したり、動作させたりしてはいけません。
 2. この装置は、制御されていない環境に対して設定された FCC RF 放射曝露制限に準拠しています。FCC の RF 曝露要件への準拠を維持するには、送信中に送信アンテナに直接接触しないようにしてください。
 3. 本装置の製造元が明示的に承認していない変更（アンテナを含む）を行った場合、装置使用のための認証が無効になることがあります。

1.2.2 FCC ラベルについて

このデバイスは、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作には次の 2 つの要件があります。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしません。
2. このデバイスは、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

1.2.3 RF 放射曝露について

操作中の身体接触のために、このデバイスは金属を含まず、ボディから最低 1cm の位置に置かれたハンドセットの付属品と一緒に使用された場合、FCC RF 曝露ガイドラインに適合しています。

他のアクセサリを使用した場合は、FCC の RF 曝露ガイドラインに準拠しているとは限りません。

1.2.4 欧州における適合について

Unitech Electronics co., Ltd は、ユニテック製品が RED 2014/53/EU 指令、EMC 2014/30/EU 指令、および低電圧 2014/35/EU 指令の基本要件およびその他のすべての条項に準拠していることを宣言しています。

適合宣言は、次のサイトからダウンロードできます。

<https://portal.unitech.eu/public/Safetyregulatorystatement>

1.2.5 CE RF 曝露の適合について

このデバイスは、健康保護のために電磁界への一般の人々の曝露の制限に関する EU の要求事項（2014/53/EU）を満たしています。

身体に装着して使用する場合、このデバイスは ICNIRP のガイドラインと欧州規格 EN 62209-2 に適合しており、専用アクセサリで使用する場合、このデバイスを使用して本体に対して 0.5cm の距離で SAR を測定し、このデバイスのすべての周波数帯域で最高の認定出力電力レベルです。金属を含む他のアクセサリを使用しても、ICNIRP の曝露ガイドラインに準拠しているとは限りません。

1.2.6 CE Mark 警告



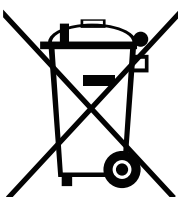
1.2.7 RoHS について



このデバイスは、電気および電子機器に使用される有害物質の最大濃度制限を規定する RoHS（Restriction of Hazardous Substances）欧州連合規則に準拠しています。

1.2.8 電気・電子機器の廃棄について

1.2.9 Waste electrical and electronic equipment (WEEE)



ユニテックは、電子廃棄物処理に関する EU 指令 2012/19 を満たすための方針とプロセスを策定しております。

ユニテックから直接購入した製品またはユニテックの再販業者を通じて購入した製品の電子廃棄物の詳細な情報については、お近くのサプライヤにお問い合わせいただくか、以下のサイトをご覧ください。

<https://portal.unitech.eu/public/WEEE>

1.2.10 電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

1.2.11 技術基準適合証明

本デバイスは、以下の無線工事設計認証および誘導式読み書き通信設備の型式指定を取得しています。

- IEEE 802.11 a/b/g/n/ac および Bluetooth、2.4GHz および 5GHz
- 13.56MHz NFC

1.2.12 台湾 NCC 警告について

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條：經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條：低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。

低功率射頻電機需忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

SAR 標準值 2.0W/KG, 送測產品實測值為：0.395 (W/KG)

注意事項：

1. 使用過度恐傷害視力。
 2. 使用 30 分鐘請休息 10 分鐘；未滿 2 歲幼兒不看螢幕，2 歲以上每天看螢幕不要超過 1 小時。
 3. 減少電磁波影響，請妥適使用。
 4. 因應各地區／國家開放頻道不同，請依據當地主管機關與電信業者實際公告資訊為主，如服務細則有所變更，請自行洽詢電信業者，恕不另通知。
 5. 無線資訊傳輸設備避免影響附近雷達系統之操作
- ※ 5.25 ～ 5.35GHz 帶では、U-NII 機器は屋内運用に限定され、同一チャンネルの MSS 運用に有害な干渉を与える可能性を低減します。

1.3 レーザーについての情報

ユニテック製品は、米国において、DHHS/CDRH 21CFR Subchapter Jの要求事項、および IEC 60825-1、Class II および Class 2 の要求事項への適合が認証されており、危険な製品とは見なされていません。ユニテック製品は、内部に可視レーザーダイオード（VLD）を含んでおり、そのエミッションは上記の規制で定められた最大限度を超えません。スキャナーは、通常の操作、ユーザーメンテナンス、または所定のサービス操作の間、有害なレーザー光に人間がアクセスすることがないように設計されています。

ユニテック製品のオプションであるレーザースキャナモジュールに DHHS/IEC が要求するレーザー安全警告ラベルは、ユニットの背面にあるメモリコンパートメントカバーにあります。

- ※ レーザ情報は、レーザコンポーネントを搭載した製品にのみ適用されます。
- ※ 本書に明記されている以外の操作、調整、操作を行うと、危険なレーザー光が発生する可能性があります。双眼鏡、顕微鏡、拡大鏡などの光学機器をスキャナに使用すると、眼の損傷の危険性が増します。これには、ユーザが装着した眼鏡は含まれません。

1.4 LED についての情報

ユニテック製品には、通常の操作、ユーザのメンテナンスまたは所定のサービス操作中に、輝度が人の目に有害でない LED インジケータまたは LED リングが含まれています。

- ※ LED 情報は、LED 部品が付いた製品にのみ適用されます。

1.5 バッテリーについての情報

1. 最適な性能を保証するために、毎年、または 500 回の充電サイクルが完了した後、充電式バッテリーを交換することをお勧めします。1 年または 500 サイクル後に電池が膨らむまたは膨張するのはあり得ることです。損傷の原因にはなりません。再度使用することはできず、バッテリーの安全な廃棄手順に従って処分する必要があります。
 2. バッテリーの性能が 20%以上低下すると、バッテリーの寿命と考えられます。使用をやめ、バッテリーを確実な方法で廃棄してください。
 3. バッテリーの寿命は、バッテリーの種類とデバイスの使用方法によって異なります。次のようにして、バッテリーの寿命を保ちます。
- 完全に充電してしまうと、バッテリーに負担がかかるので避けてください。完全に充電されていない状態よりも、部分的に充電を解除して、頻繁に充電する方がよいでしょう。部分的に充電されたバッテリーを充電しても、本機に害はありません。
 - 暑い日にドアを閉めた車の中や、直射日光の下など、高温になる場所に電池パックや機器を長時間放置しないでください。高温の環境下では、電池が破損する恐れがあります。電池を入れた状態で、使用可能な温度範囲内で使用してください（詳細は「仕様」の項を参照）。
 - 電池の性能を十分に発揮させるために、通常は 2 年ごと、または 500 回の充電を行った後に充電電池を交換することをお勧めします。上記の警告メッセージを無視して電池を使い続けると、致命的な結果を招く恐れがあります。
 - バッテリーを充電しないで長期間放置しないでください。バッテリーが消耗し、バッテリーの寿命が半分以下になることがあります。

4. バッテリーの過充電またはバッテリーを充電したままにしないでバッテリーの寿命を保ってください。
 5. 充電しないで長期間放置しないでください。ユニテックの安全上の注意にもかかわらず、バッテリーパックの形状が変化し始める可能性があります。その場合は、すぐに使用を中止してください。適切な電源アダプタを使用してバッテリーを充電しているかどうかを確認するか、サービスセンターに連絡してサービスを受けてください。
 6. 長時間アイドル状態になっても充電できない場合は、充電を行わないでください。もう機能しないかもしれません。
 7. バッテリーはユニテックの純正品のみを使用してください。サードパーティ製のバッテリーを使用すると、製品が損傷する可能性があります。このような損害が発生した場合、ユニテックの保証対象外となりますのでご注意ください。
- ※ バッテリーが誤って交換された場合は爆発する危険性があります。
- ※ 地方自治体の案内に従い使用済みのバッテリーを処分してください。

1.5.1 バッテリー充電についての注意

バッテリーパックの充電中は周囲の温度を考慮する必要があります。充電は、通常の室温またはわずかに低温の環境で最も効率的です。バッテリーは 0℃～40℃の規定範囲内で充電することが不可欠です。指定された範囲外の温度でバッテリーを充電すると、バッテリーが損傷し、寿命が短くなる可能性があります。

注意

- 0℃より低い温度でバッテリーを充電しないでください。これにより、電池が不安定になり危険です。安全な充電温度範囲を確保するため、充電器にはバッテリー温度検出デバイスを使用してください。
- ユニットが正常に動作するように、すべてのコネクタを埃、グリース、泥、水などの物質から遠ざけてください。そうしないと、通信、短絡、過熱などの原因でユニットが故障する可能性があります。
- コネクタが破損している場合は、装置を使用する前にコネクタが修理されていることを確認してください。

1.5.2 保管および安全に関する注意

数ヶ月間使用されない充電済みのバッテリーは、内部抵抗のために容量がなくなる可能性があります。このような場合は、使用前に再充電する必要があります。電池は -20℃～60℃の温度で保存することができますが、高温では急速に消耗する可能性があります。電池は室温で保管することをお勧めします。

- ※ 上記のメッセージは、交換可能なバッテリーの使用にのみ適用されます。取り外し不可能なバッテリー/バッテリーなしの製品については、各製品の仕様を参照してください。

1.6 製品の操作と保管に関する注意

ユニテック製品には、操作および保管温度の条件が適用されます。故障、破損、誤動作を防ぐため、推奨温度条件の制限に従って使用してください。

- ※ 適用される温度条件については、各製品の仕様を参照してください。

1.7 アダプタについての注意

1. 電源アダプタが充電のためにユニテック製品に接続されていない場合、電源アダプタをコンセントに差し込まないでください。
 2. バッテリーが完全に充電されたら、電源アダプタを取り外してください。
 3. ユニテック製品に同梱されている付属の電源アダプタは、屋外での使用を目的としたものではありません。水や雨にさらされたアダプタ、または非常に湿度の高い環境では、アダプタと製品の両方が損傷する可能性があります。
 4. 添付された電源アダプタまたは同じ仕様のアダプタを使用して、ユニテック製品を充電してください。間違った電源アダプタを使用すると、ユニテック製品が損傷する可能性があります。
- ※ 上記のメッセージは、アダプタに接続されている製品にのみ適用されます。アダプタを使用しない製品については、各製品の仕様を参照してください。

1.8 聴覚障害についての警告

聴力障害を起こす可能性を防ぐために、高音量で長時間聴かないでください。



1.9 保証とアフターサービスについて

1.9.1 製品付属の保証期間

ユニテックの保証（限定保証）は、次の保証期間中に通常の使用状況で発生した故障に対して適用されます。

- 製品本体 — 1 年間
- バッテリー、ケーブルなどを含むその他アクセサリ類 — 3 ヶ月

1.9.2 標準保証について

ユニテックの製品に付属している標準保証は限定保証です。次の内容に当てはまる場合は限定保証の対象外と判断される場合があります。

- ▶ 不適切な使用方法による故障や破損
- ▶ ご使用開始後の輸送や移動時の落下による故障や破損
- ▶ 保管上の不備や手入れの不備によるサビや汚れなどによる故障や破損
- ▶ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧による故障や破損
- ▶ ユニテック以外での個人による修理、改変、改造または分解など、不適切なサービスによる故障や破損
- ▶ 通常使用における損耗、摩耗、キズまたはヘコミなど動作に支障ないもの
- ▶ 経年劣化による色の変化
- ▶ 部品の紛失
- ▶ 本体以外の添付品（ケーブルなど）や消耗部品（バッテリーなど）
- ▶ ユニテックで製造していない製品

1.9.3 初期不良について

ユニテックが定める初期不良の判断期間は、ユニテックの製品出荷日の翌々営業日から 2 週間です。これは製品到着後、使用せずに保管していた期間も含まれます。初期不良を確認した場合は、速やかにご購入いただいた代理店／販売店へご連絡ください。

初期不良の場合は、次の場合を除き、原則、製品交換にて対応させていただきます。

- ご購入時の製品状態（本体、アクセサリ、マニュアル、梱包箱など）から欠品がある場合
- 使用者による破損など、限定保証の範囲外となる場合
- 交換用の製品が欠品している場合（入荷までお待ちいただける場合は除く）

1.9.4 修理保守サービスについて

ユニテック製品の修理サービスをご希望のお客様は、ご購入いただいた代理店／販売店へご相談いただくか、弊社サービスセンターへ修理をご依頼いただく製品を直接お送りください。

弊社サービスセンターへ修理ご依頼製品を直接お送りいただく場合は、次の URL から修理依頼書をダウンロードしてください。ダウンロードした修理依頼書に記載された内容をご理解いただき、修理依頼書に必要事項をご記入のうえ、修理依頼製品に同梱してお送りください。

http://www.unitech-japan.co.jp/service/download/service_request.pdf

1.10 ワールドワイドサポート

ユニテックのプロフェッショナルサポートチームは、迅速にお問合わせに回答したり、技術関連の問題をサポートしたりすることができます。機器に問題が発生した場合は、最寄りの国のサービス担当者に連絡してください。

連絡先の詳細については、以下の Web サイトを参照してください。

台北、台湾 - 本社	ヨーロッパ
電話: +886-2-89121122 E-mail: info@hq.ute.com 住所: 5F, No. 136, Lane 235, Baoqiao Road, Xindian District, New Taipei City 231, Taiwan (R.O.C.) Website: https://www.ute.com/tw	電話: +31-13-4609292 E-mail: info@eu.ute.com 住所: Kapitein Hatterasstraat 19, 5015 BB, Tilburg, the Netherlands Website: https://www.ute.com/eu
中国	日本
電話: +86-59-2310-9966 E-mail: info@cn.ute.com 住所: Room401C, 4F, RIHUA International Mansion, Xinfeng 3rd Road, Huoju Hi-tech District, Xiamen, Fujian, China Website: http://www.ute.com/cn	電話: +81-3-35232766 E-mail: info@jp.ute.com 住所: 〒104-0033 東京都中央区新川 1-5-19 茅場町長岡ビル 8 階 Website: https://www.ute.com/jp
アジアパシフィック / 中東	南米
電話: +886-2-27911556 E-mail: info@apac.ute.com info@india.ute.com info@mideast.ute.com 住所: 4F., No. 236, ShinHu 2nd Rd., NeiHu Chiu, 114, Taipei, Taiwan Website: https://www.ute.com/apac	電話: +52-55-5171-0528 E-mail: info@latin.ute.com 住所: 17171 Park Row, Suite 210 Houston, TX 77084USA (Rep.) Website: https://www.ute.com/latin
北米	グローバルページへのリンク
電話: +1-714-8916400 E-mail: info@us.ute.com info@can.ute.com 住所: 6182 Katella Ave, Cypress, CA 90630, USA Website: https://www.ute.com/us	

目次

第 1 章 はじめに	3
1.1 本マニュアルについて	3
1.2 認証について	3
1.2.1 FCC 警告について	3
1.2.2 FCC ラベルについて	3
1.2.3 RF 放射曝露について	4
1.2.4 欧州における適合について	4
1.2.5 CE RF 曝露の適合について	4
1.2.6 CE Mark 警告	4
1.2.7 RoHS について	4
1.2.8 電気・電子機器の廃棄について	4
1.2.9 Waste electrical and electronic equipment (WEEE)	4
1.2.10 電波障害自主規制	5
1.2.11 技術基準適合証明	5
1.2.12 台湾 NCC 警告について	5
1.3 レーザーについての情報	6
1.4 LED についての情報	6
1.5 バッテリーについての情報	6
1.5.1 バッテリー充電についての注意	7
1.5.2 保管および安全に関する注意	7
1.6 製品の操作と保管に関する注意	7
1.7 アダプタについての注意	8
1.8 聴覚障害についての警告	8
1.9 保証とアフターサービスについて	9
1.9.1 製品付属の保証期間	9
1.9.2 標準保証について	9
1.9.3 初期不良について	9
1.9.4 修理保守サービスについて	9
1.10 ワールドワイドサポート	10
第 2 章 概要	14
2.1 パッケージ	14
2.1.1 基本パッケージの内容	14
2.1.2 オプションアクセサリ	14
2.2 外観	15
2.3 キーパッド	17
2.4 仕様	18
2.5 初めて使う	21
2.5.1 バッテリー（カバー）の取り外しと取り付け	21
2.5.2 バッテリーの充電	23
2.5.3 初めてターミナルの電源を入れる	24
2.6 電源ボタン	24

2.7	LED ステータスのチェック	24
2.8	バッテリーステータスのチェック	25
2.9	Micro SD/Nano SIM カードの使い方	25
2.10	バッテリー情報	26
2.10.1	バッテリー情報のヘルプサービス	27
2.11	ダークテーマ	27
2.12	夜間モード	27
第3章	キーパッド	28
3.1	キーパッド	28
3.2	アルファキーコンビネーション	29
3.3	ファンクションキーコンビネーション	31
第4章	機能と操作	32
4.1	アプリ一覧画面	32
4.2	ステータスバー	32
4.3	通知パネル	32
4.4	バーコードスキャン	33
4.4.1	バーコードスキャナの設定	33
4.4.2	バーコードスキャナのデータ送信先	33
4.4.3	バーコードスキャン	34
4.5	NFC 設定	34
4.6	モバイルネットワーク設定	34
4.7	Wi-Fi 設定	34
4.7.1	ランダム MAC アドレス	34
4.8	Wi-Fi 詳細設定	35
4.8.1	Power Save Mode	35
4.8.2	Roaming Trigger	35
4.8.3	Roaming Delta	35
4.8.4	Roaming Scan Period	35
4.8.5	その他のオプション	35
4.9	Bluetooth 設定	36
4.10	GPS 設定	36
4.11	USB 接続設定	36
4.12	カメラ	36
4.12.1	シーンモード	36
4.12.2	フィルターエフェクト	37
4.12.3	フラッシュ	37
4.12.4	詳細設定	37
4.12.5	カメラ撮影	37
4.12.6	ビデオ撮影	37
4.13	ハードウェアリセットの実行	37
4.14	工場出荷標準値にリセット	37
4.15	キーリマップ	38

4.15.1 キー機能の変更	38
4.15.2 キーリマップ構成ファイルのエクスポート	38
4.15.3 キーリマップ構成ファイルのインポート	39
4.15.4 キーリマップのすべての設定を初期化	39
4.16 スクリーンの分割	39
4.17 NTP サーバー	39
4.18 バッテリースワップ	40
4.19 グローブモード	40
第 5 章 アプリケーションの概要	41
5.1 USS	41
5.2 ファイルマネージャー	41
5.3 Software Update	41
5.4 StageGO	42
5.5 MoboLink	43
第 6 章 その他の情報	44
6.1 システムアップデート	44
6.2 アプリ固定	44
6.3 nowelcome.txt	44
6.4 スクリーンショットの撮影	44
6.5 OS 言語の変更	45
6.6 開発者向けオプション	45
6.7 セーフモード	45
6.8 リカバリーモード	46

第2章 概要

2.1 パッケージ

HT730 のボックスに次のものが入っていることを確認してください。不足または破損しているものがある場合は、ご購入になった代理店・販売店にお問い合わせください。

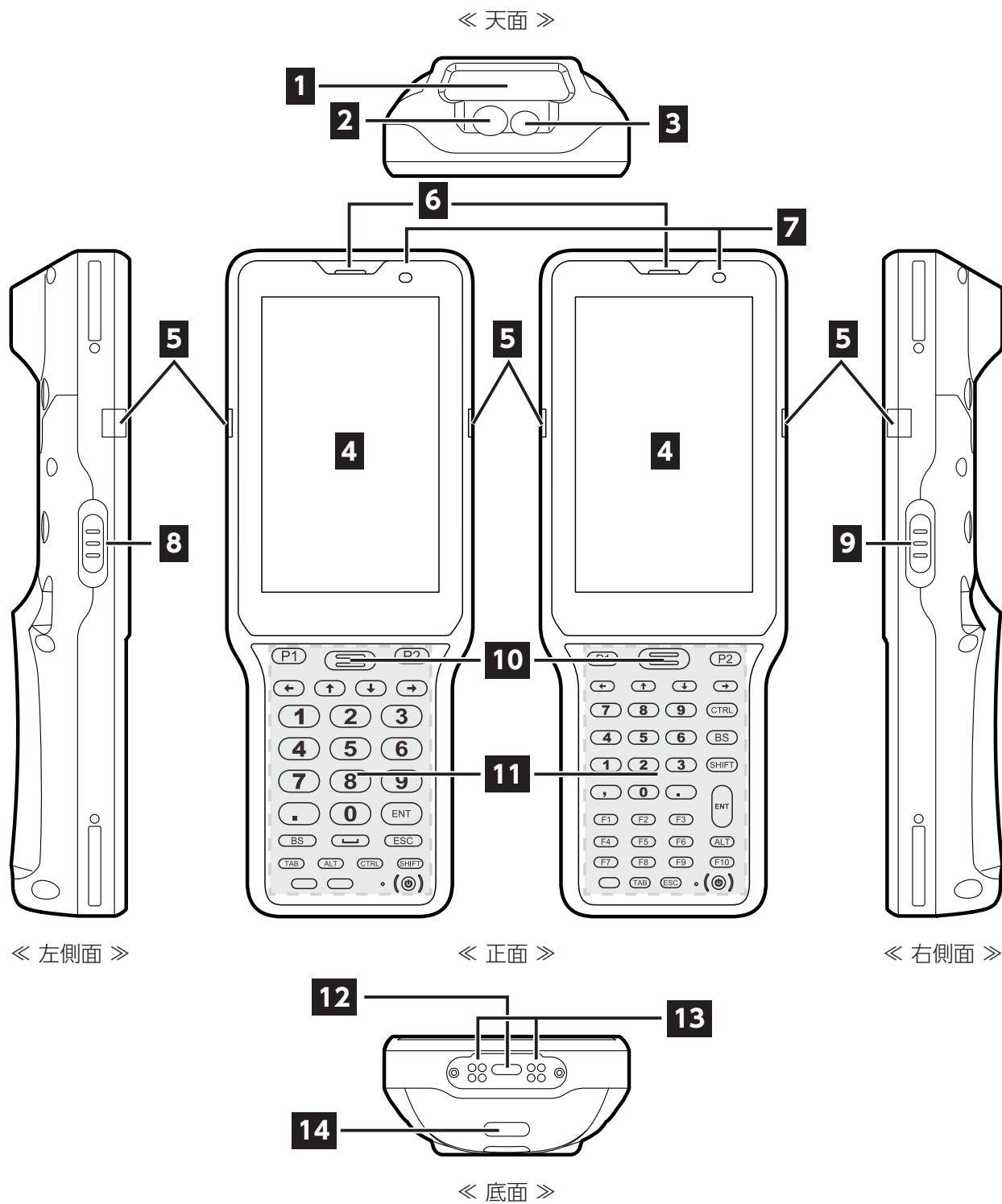
2.1.1 基本パッケージの内容

- HT730 本体
- バッテリ 3.7V 6700mAh
- ハンドストラップ
- クイックスタートガイド
- ユーザ登録カード、保証書

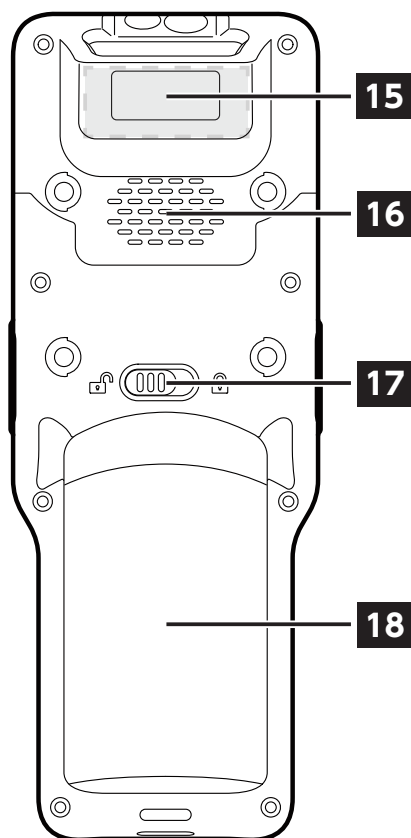
2.1.2 オプションアクセサリ

- バッテリ 3.7V 6700mAh (PN#1400-900061G)
- ハンドストラップ (PN#608909G)
- USB 3.0 タイプ-C ケーブル (PN#1550-905908G)
- 電源アダプタ (PN#1010-900061G)
- シングルスロット充電クレードル (PN#5000-900086G)
- シングルスロット Ethernet クレードル、USB ホスト付き (PN#5000-900087G)
- シングルスロット USB・充電クレードル (PN#5000-900090G)
- ディスプレイポートクレードル (PN#5000-900088G)
- 4 スロット充電クレードル (予定)
- 4 スロット Ethernet クレードル (予定)
- 4 スロットバッテリー充電器 (予定)
- ガラススクリーンプロテクター (PN#401609G)
- スタイラス、コイルストラップ付き (PN# 1979-900003G)
- ガングリップ (PN# 5500-900096G)

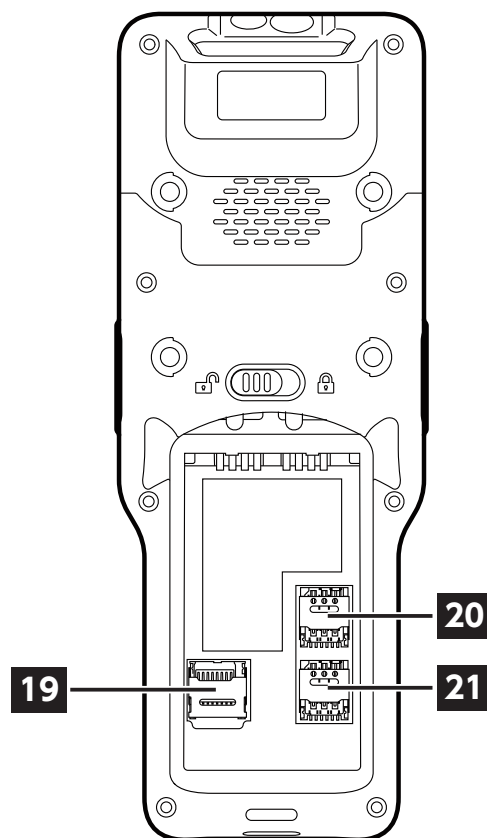
2.2 外觀



《 背面 》



《 背面 (バッテリーカバー無し) 》



- 1 スキャナウィンドウ
- 2 13MP フロントカメラ
- 3 フラッシュライト
- 4 液晶ディスプレイ
- 5 LED インジケーター
- 6 受話器
- 7 光 & 近接センサー
- 8 スキャンボタン (左)
- 9 スキャンボタン (右)
- 10 スキャンボタン (中央)
- 11 29/38 キーパッド

- 12 USB タイプ -C ポート
- 13 POGO ピ
- 14 ストラップ・ホール
- 15 NFC アンテナ位置
- 16 スピーカー
- 17 バッテリーカバー・リリースラッチ
- 18 バッテリーカバー
- 19 MicroSD/HC/XC スロット
- 20 Nano SIM スロット 1
- 21 Nano SIM スロット 2

2.3 キーパッド



≪ 29 キー パッド ≫



≪ 38 キー パッド ≫

キー	28 キー	38 キー	説明
	✓	✓	電源 キー
	✓	✓	プログラム可能なキー 1 ¹
	✓	✓	プログラム可能なキー 2 ¹
	✓	✓	スキャン キー
	✓	✓	カーソル移動 キー
	✓	✓	数字 0 ～ 9 キー
		✓	F1 ～ F10 キー
	✓	✓	ドット キー
		✓	カンマ キー
	✓		スペース キー
	✓	✓	エンター キー
	✓	✓	エスケープ キー
	✓	✓	バックスペース キー
	✓	✓	タブ キー
	✓	✓	ALT キー
	✓	✓	CTRL キー
	✓	✓	SHIFT キー
	✓	✓	ファンクション キー ²
	✓	✓	アルファ キー ²

1. "KeyRemap" アプリによる割り当てが可能です。

2. 他のキーと組み合わせて使用します。キーの上または右に印刷されている同色の文字・機能呼び出します。

2.4 仕様

システム	
OS	Android™ 10 (Android は Google LLC の商標または登録商標です。)
GMS 認証	GMS 認定済み
CPU	Qualcomm® Snapdragon™ 720G SM7125 2.3 GHz 64 ビットオクタコア
メモリ	RAM : 4GB/ROM : 64GB
サポート言語	日本語、英語、その他マルチ言語対応
ディスプレイ	
サイズ	4 インチ TFT-LCD WVGA (480x800) カラースクリーン (400 ニット)
タッチパネル	超高感度静電式タッチパネル、手袋対応、水濡れ対応
ボタン / キーパッド	
ボタン / キーパッド	数字キー付き (29 キー) または数字・ファンクションキー付き (38 キー) いずれもバックライト付き
カメラとフラッシュ	
カメラとフラッシュ	背面 13 万画素自動焦点付カメラ、フラッシュ付き
インジケータ	
インジケータ	LED、スピーカー、バイブレーター
バーコードシンボル	
1 次元コード	UPC/EAN/JAN、GS1 DataBar、Code 39、Code 128、Code 32、Code 93、Codabar/NW7、Interleaved 2 of 5/ITF、Matrix 2 of 5、MSI、Trioptic
2 次元コード	PDF417、MicroPDF417、GS1 コンポジット、Code11、Aztec Code、Data Matrix、QR Code、Micro QR Code、MaxiCode、Han Xin Code、DOT Code
郵便コード	Intelligent Mail Barcode、Postal-4i、オーストラリア郵便、日本郵便、オランダ郵便 (KIX)、Postnet、Planet Code
OCR	OCR-A、OCR-B、MICR E13B
RFID	
UHF RFID (オプション)	周波数 : 865~868MHz, 902~928MHz プロトコル : EPC global Class 1 Gen 2 ISO 18000-6C/6B アンテナ利得 : 4dbi 出力電力 : 1-30dbm 調整可能 読取り距離 : 6~8 メートル
HF RFID	HF 帯 RFID/NFC サポート (本体背面に搭載) 周波数 13.56Mhz ISO14443A/B、ISO15693 標準サポート

通信	
Bluetooth®	Bluetooth® 5.1
WLAN	802.11a/b/g/n、802.11ax- レディ、802.11ac Wave 2 (デュアルアンテナ、2X2 MU-MIMO サポート)
WWAN	LTE アドバンスドサポート CAT4 LTE (FDD) - バンド 1、2、3、4、5、7、8、17、20、28 LTE (TDD) - バンド 38、39、40、41 UMTS/HSPA+ (3G) ? バンド 1、2、5、8 GSM/GPRS/EDGE クワッドバンド (850/900/1800/1900 MHz) * 日本国内での使用についてはお問い合わせ下さい。
GPS	GPS、GLONASS、Galileo、BeiDou
センサー	ジャイロスコープ、G- センサー、E- コンパス、光 & 近接センサー
I/O インターフェース	
USB	USB 3.1 (タイプ-C)、USB OTG サポート ディスプレイポートモードサポート Ethernet/USB- ホスト、クレードル経由
OTG	あり、USB タイプ-C 経由
ポゴピン	カスタム IO コネクタ (USB ホストを含む)
SIM スロット	Nano SIM スロット x 2
拡張スロット	microSD/microSDHC/microSDXC (2GB/32GB/256GB)
オーディオ	2W 出力、105 dB 10cm 離れて、デュアルマイク、ノイズキャンセルサポート
外観	
寸法	195mm x 72mm x 34mm
重量	38 キー : 393g (標準バッテリー含む) 29 キー : 389g (標準バッテリー含む)
耐久保護	
落下テスト	バンパーなし : 1.8m 落下後正常動作 バンパーあり : 2.4m 落下後正常動作 MIL-STD-810G テスト
防塵・防水	IP65/IP67
タンブリングテスト	0.5m、300 サイクル、600 回落下
環境仕様	
動作温度範囲	-20℃ から 50℃
保存温度範囲	-30℃ から 70℃ (バッテリーを除く)
充電温度範囲	0℃ から 45℃
相対湿度	5% から 95% (結露なきこと)

電源	
メインバッテリー	取り外し可能な 3.7V 6700mAh
充電時間	約 5 時間
ホットスワップ	バッテリー交換時、1 分間以内アプリケーションを保持
ソフトウェア	
デバイス管理システム MDM	SOTI、AirWatch、42Gears、Ivanti Wavelink、および MoboLink
認証	
認証	CE、FCC、NCC、IC、VCCI、TELEC、CCC、SRRC、RoHS、CEC、BQB、GMS、N-Mark * 取得予定を含みます。

	AT	BE	BG	HR	CY	CZ	DK
	EE	FI	FR	DE	EL	HU	IE
	IT	LV	LT	LU	MT	NL	PL
	PT	RO	SK	SI	ES	SE	UK
	IS	LI	NO	CH	TR		

※ 本ターミナルは、5150MHz から 5350 MHz の周波数で使用する場合は、屋内でのみ使用可能です。

2.5 初めて使う

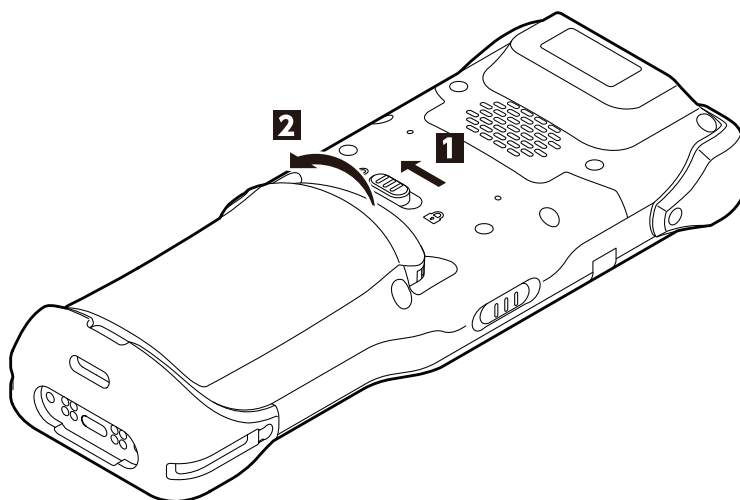
2.5.1 バッテリー（カバー）の取り外しと取り付け

警告！ バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や火傷の危険があります。バッテリーパックを分解したり、押しつぶしたり、穴を開けたり、外部接点を短くしたり、火や水に投棄したりしないでください。バッテリーを開けたり、修理したりしないでください。お住まいの地域のリサイクルガイドラインに従って、使用済みバッテリーを廃棄してください。

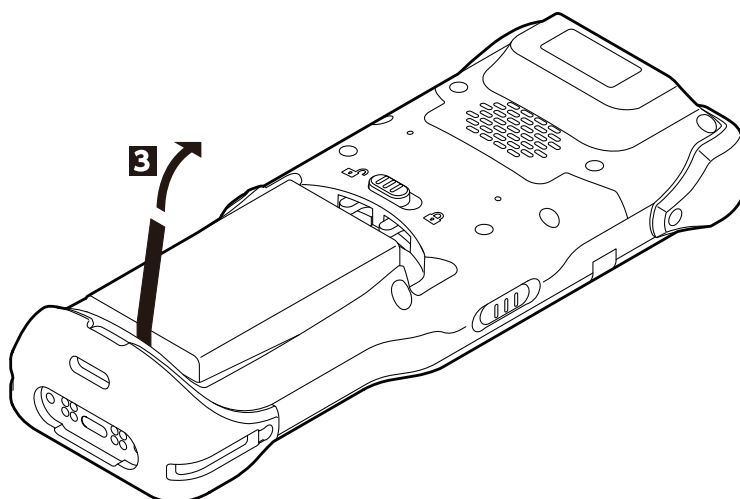
注意 バッテリーを取り付けた後、バッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください。

■ バッテリー（カバー）の取り外し

1. バッテリーカバーリリースラッチをアンロック側（）にスライドします。
2. バッテリーカバー上方のくぼみを掴んで上に引き上げながらカバーを取り外します。

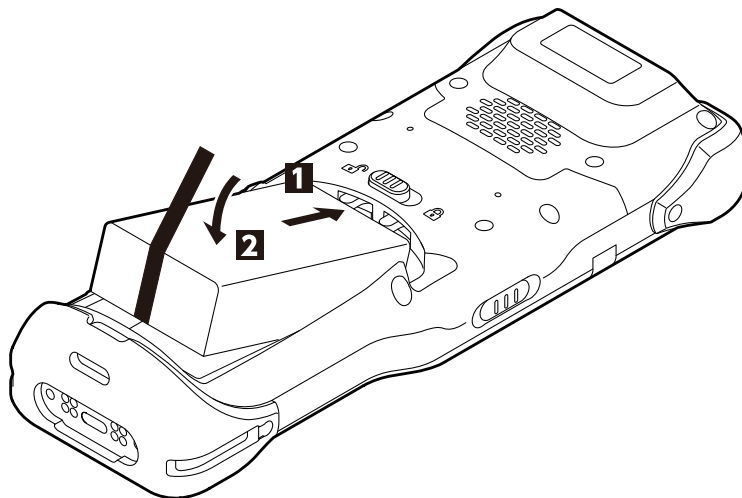


3. バッテリーボックス内のプルタブを引いてバッテリーを取り外します。

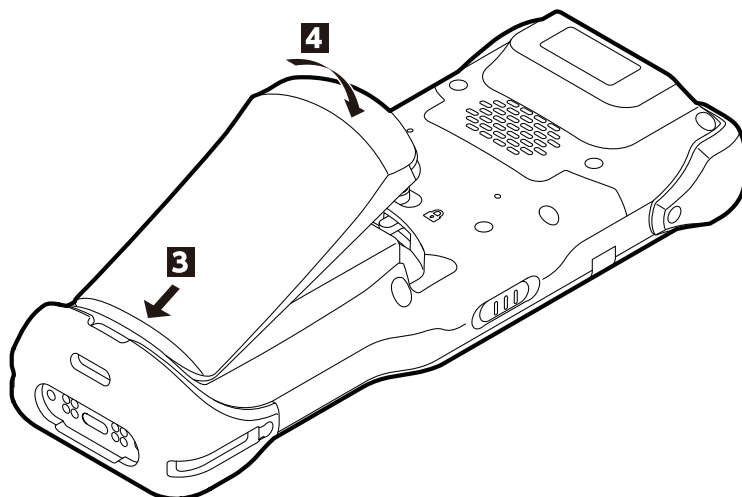


■ バッテリー（カバー）の取り付け

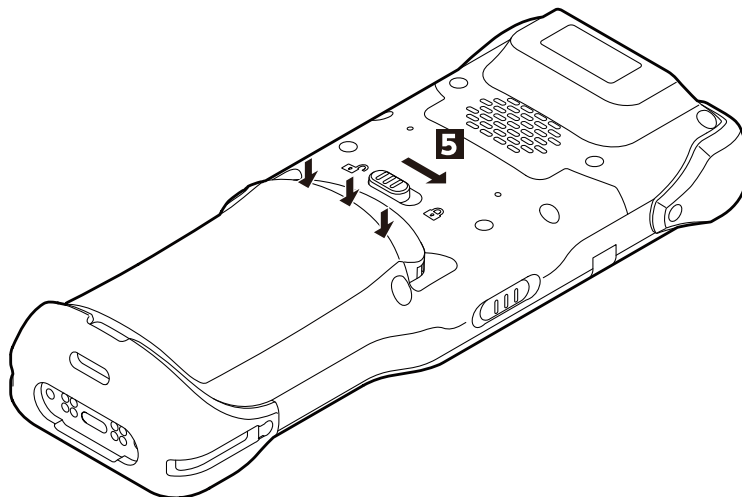
1. バッテリーの接点とバッテリーボックス内の接点が揃っていることを確認し、スライドさせながら、バッテリーをバッテリーボックスに挿入します。
2. それぞれの接点を揃えたら、バッテリーをバッテリーボックス内に収めます。



3. バッテリーカバーの下側のツメを、ボトムカバーの穴に差し込むようにスライドさせながら挿入します。
4. バッテリーカバーのツメとボトムカバーの穴がしっかり揃ったら、バッテリーカバーを閉じます。このとき、プルタブが、中でよれたり、カバーの外に出ないように注意してください。



5. バッテリーカバーを抑えながら、バッテリーカバーリリースラッチをロック側 (🔒) にスライドします。

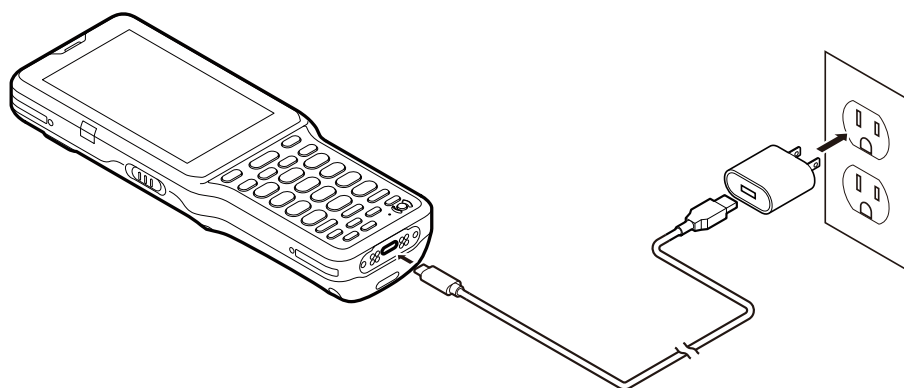


2.5.2 バッテリーの充電

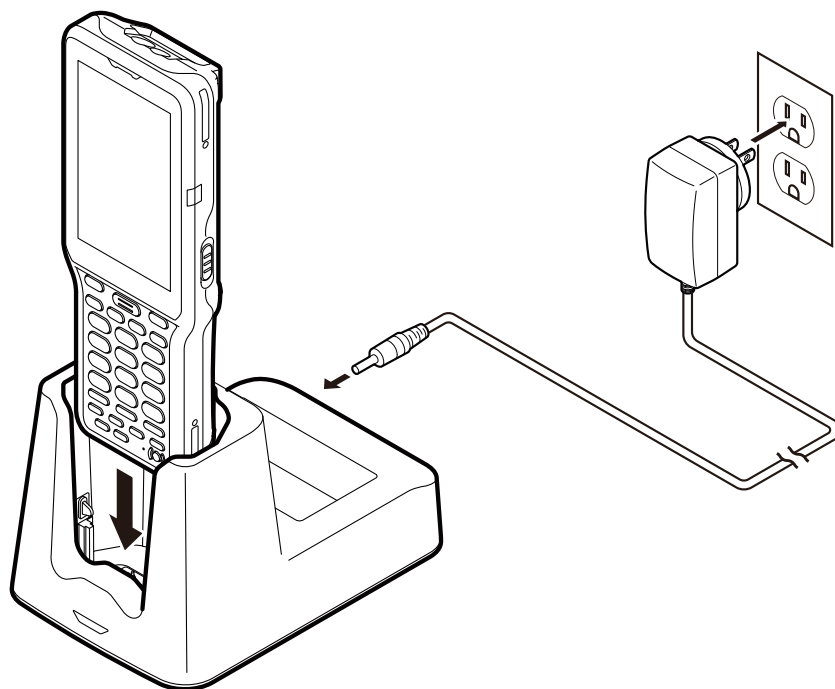
初めてご利用になるときは、約 24 時間充電する必要があります。通常の使用では、HT730 をオプションの USB Type-C ケーブルと AC 電源アダプタで 2.5 時間以内にフル充電することができます。クレードルでフル充電するには約 4 時間かかります。

USB Type-C ケーブルを HT730 の USB ポートに接続し、USB ケーブルのもう一方の端を AC 電源アダプタに接続してコンセントに差し込みます。

HT730 の充電 LED インジケータは、充電状態になると赤くなります。 バッテリーが完全に充電されると、緑色のライトが点灯します。



オプションの充電クレードルや 4 スロットクレードルを使用して本体のバッテリーを充電することも出来ます。充電の状態は、本体の LED ランプや画面表示で確認してください。

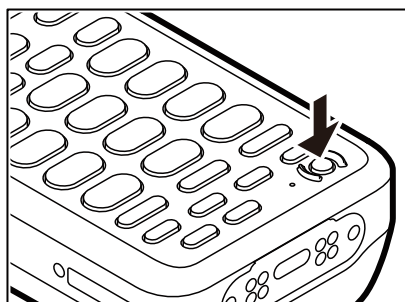


2.5.3 初めてターミナルの電源を入れる

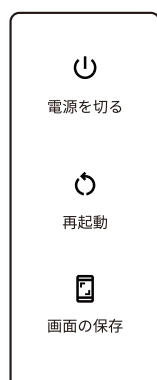
初めて使用する前に、HT730 を完全に充電することをお勧めします。ターミナルを起動して、言語、無線 LAN 設定、日付と時刻などを設定することができます

2.6 電源ボタン

ターミナルのキーパッドにある電源ボタンを長押しして、ターミナルの電源を入れます



Android OS の実行中に電源ボタンを長押しすると、 電源を切る、 再起動、 画面の保存のオプションが画面に表示されます。



2.7 LED ステータスのチェック

LED	説明
赤色	■ バッテリーは充電中です。 ■ 電源オン時に点滅しているときは、バッテリー電圧低下 (15% 以下) を示しています。 ■ 充電開始時に点滅しているときは、バッテリーが装着されていないか、バッテリーがうまく装着されていないことを示しています。
緑色	■ バッテリーは完全に充電されました。 ■ バーコードの読取りに成功しました。
青色	■ 通知メッセージがあります。(スリープ中) ■ 青色代替文字へのアクセスが有効化されています。(操作中)
黄色	■ 黄色代替文字へのアクセスが有効化されています。(操作中)

※ バッテリーが外されている場合、赤と緑の LED は点灯しません。

2.8 バッテリーステータスのチェック

通常の使用中にバッテリー残量が少なくなると、バッテリー残量が少ないか非常に少ないことを示すステータスアイコンがデバイス画面に表示されます。どちらの場合も、データをバックアップしてから、できるだけ早くターミナルを充電してください。

	充電完了
	充電中
	残量低下
	バッテリーセーバー

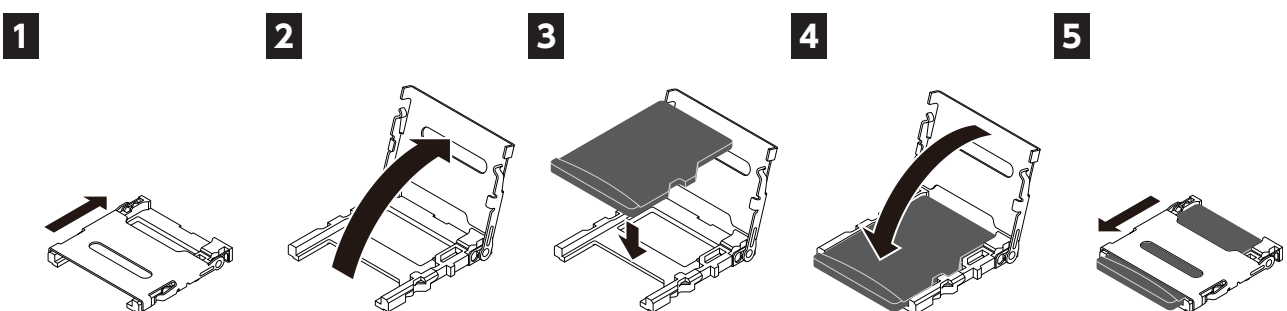
※ 通知領域にバッテリー残量を数値で表示させるには、[ 設定] → [ 電池] → [電池残量] のスイッチをオンにします。

2.9 Micro SD/Nano SIM カードの使い方

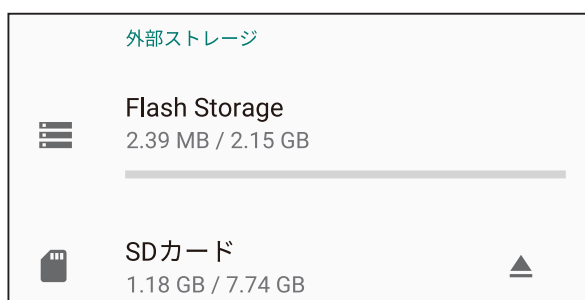
HT730 は、バッテリーボックス内に Micro SD と 2 つの Nano SIM カードスロットを備えています。Micro SD カードまたは Nano SIM カードを挿入または取り外す前ターミナルの電源を切ってください。

■ Micro SD カード

1. スロットカバーを矢印の方向に軽くスライドさせ、カバーのロックを解除します。
2. ロックを解除したらスロットカバーを軽く上に引き上げます。
3. Micro SD カードをスロットの形に合わせて置きます。
4. Micro SD カードを押えながらスロットカバーを元の位置に戻します。
5. スロットカバーを矢印の方向に軽くスライドさせ、カバーをロックします。



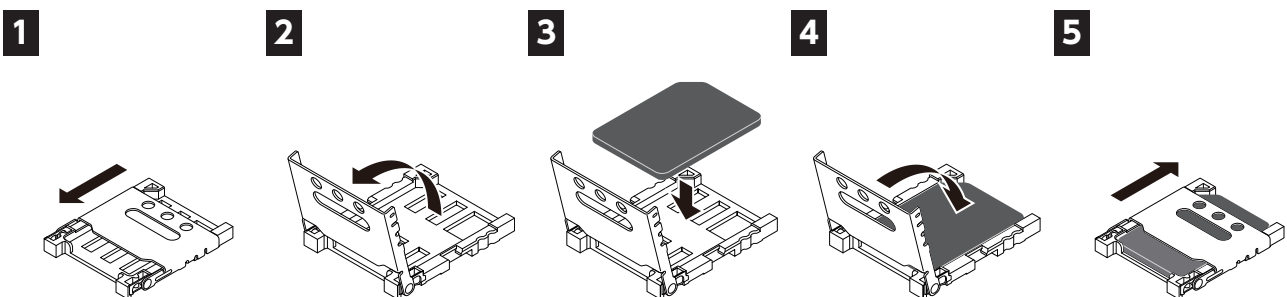
ストレージの容量は、[ 設定] → [ ストレージ] → [ SD カード] で確認することができます。



■ Nano SIM カード

注意 HT730 は、3G/4G LTE の国内認証を取得しておりませんので、SIM カードを使用したモバイル通信を行うと、電波法によって罰せられます。モバイル通信について、ご興味がある場合は、ユニテック・ジャパンの担当者 (info@jp.ute.com) へご相談ください。

1. スロットカバーを矢印の方向に軽くスライドさせ、カバーのロックを解除します。
2. ロックを解除したらスロットカバーを軽く上に引き上げます。
3. SIM カードをスロットの形に合わせて置きます。
4. SIM カードを押えながらスロットカバーを元の位置に戻します。
5. スロットカバーを矢印の方向に軽くスライドさせ、カバーをロックします。



2.10 バッテリー情報

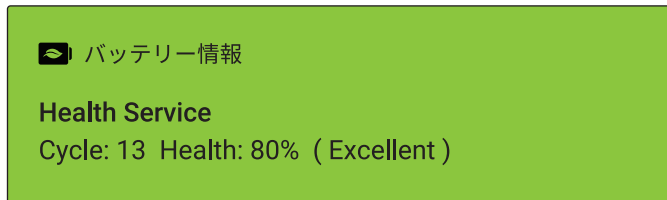
ユーザーが、バッテリーの状態や記録履歴を確認したり設定を変更したりするための機能を提供します。バッテリー情報にアクセスするには、アプリ一覧画面から [⚙️ 設定] → [🔋 バッテリー情報] をタッチします。



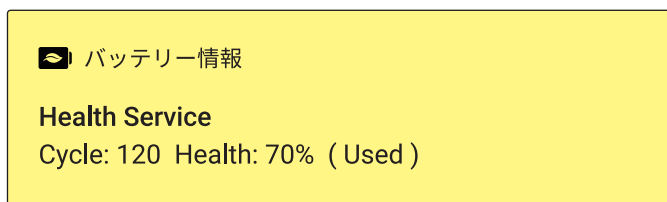
2.10.1 バッテリー情報のヘルスサービス

バッテリー情報のヘルスサービスは、バッテリーの健康状態を表示するサービスです。ロック画面と通知バー（通知パネル）の両方に表示されます。ヘルスサービスを停止するには、バッテリー情報画面の→[⋮]→[設定]→[Health Service]のチェック外してください。

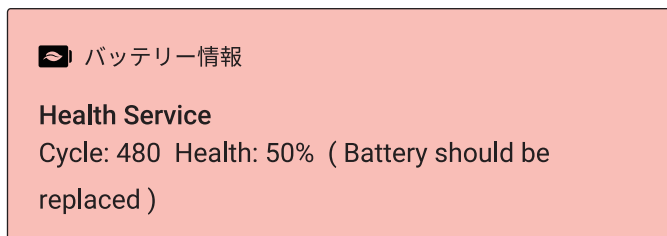
■ バッテリーの健康状態が 80%以上の場合



■ バッテリーの健康状態が 60%以上の場合



■ バッテリーの健康状態が 60%以下の場合（バッテリーの交換が必要です）



※ バッテリーを長期間保管すると、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。何度か充電と放電を繰り返して、バッテリーの健康状態が安定していることを確認してください。それでもバッテリーの寿命が60%以下の場合は、バッテリーを交換してください。

2.11 ダークテーマ

ダークテーマを使用するには、アプリ一覧画面から、[⚙️設定]→[🖥️ディスプレイ]→[ダークテーマ]のトグルスイッチをオンにするか、[ダークテーマ]→[今すぐ ON にする]ボタンをタップします。

2.12 夜間モード

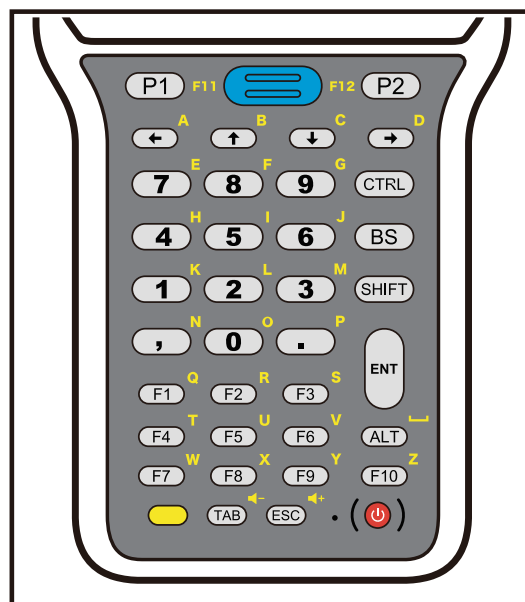
夜間モードを使用するには、アプリ一覧画面から、[⚙️設定]→[🖥️ディスプレイ]→[夜間モード]→[今すぐ ON にする]ボタンをタップします。

第3章 キーパッド

3.1 キーパッド



≪ 29 キー パッド ≫



≪ 38 キー パッド ≫

キー	28 キー	38 キー	説明
	✓	✓	電源 キー
	✓	✓	プログラム可能なキー 1 ¹ (あらかじめ画面キーボードの表示 / 非表示機能が割り当てられています)
	✓	✓	プログラム可能なキー 2 ¹ (あらかじめカメラアプリの実行機能が割り当てられています)
	✓	✓	スキャン キー
	✓	✓	カーソル移動 キー
	✓	✓	数字 0 ~ 9 キー
		✓	F1 ~ F10 キー
	✓	✓	ドット キー
		✓	カンマ キー
	✓		スペース キー
	✓	✓	エンター キー

3. "KeyRemap" アプリによる割り当てが可能です。

4. 他のキーと組み合わせて使用します。キーの上または右に印刷されている同色の文字・機能呼び出します。

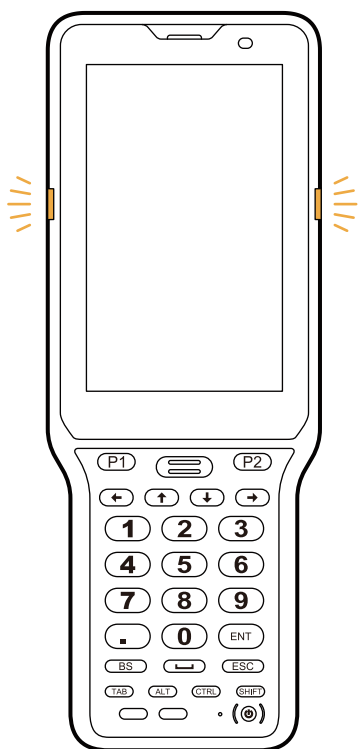
キー	28 キー	38 キー	説明
	✓	✓	エスケープ キー
	✓	✓	バックスペース キー
	✓	✓	タブ キー
	✓	✓	ALT キー
	✓	✓	CTRL キー
	✓	✓	SHIFT キー
	✓	✓	ファンクション キー ²
	✓	✓	アルファ キー

3. "KeyRemap" アプリによる割り当てが可能です。

4. 他のキーと組み合わせて使用します。キーの上または右に印刷されている同色の文字・機能呼び出します。

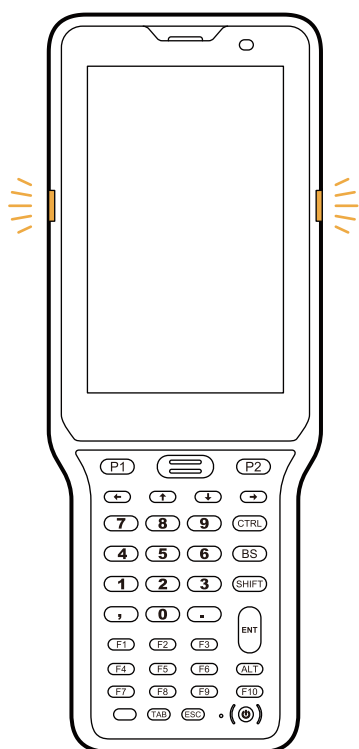
3.2 アルファキーコンビネーション

アルファキーを押して放すと、キーパッドにプリントされている黄色の代替文字へのアクセスが有効化されます。黄色の代替文字へのアクセスが有効化されているとき、スタートスバーに  が表示され、デバイスの LED インジケータが黄色に点灯します。



≪ 29 キー パッド ≫

キー	 + キー
	abc
	def
	ghi
	jkl
	mno
	pqrs
	tuv
	wxyz

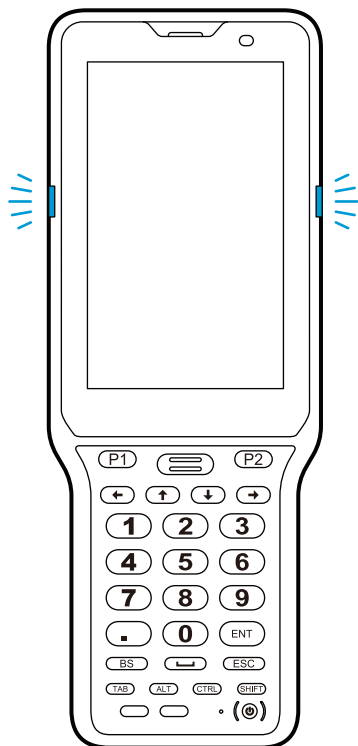


<< 38 キー パッド >>

キー	+ キー
P1	F11
P2	F12
←	A
↑	B
↓	C
→	D
7	E
8	F
9	G
4	H
5	I
6	J
1	K
2	L
3	M
,	N
0	O
.	P
F1	Q
F2	R
F3	S
F4	T
F5	U
F6	V
F7	W
F8	X
F9	Y
F10	Z
ALT	␣ (スペース)
TAB	🔊- (ボリューム ダウン)
ESC	🔊+ (ボリューム アップ)

3.3 ファンクションキーコンビネーション

ファンクションキーを押して放すと、キーパッドにプリントされている青色の代替文字へのアクセスが有効化されます。青色の代替文字へのアクセスが有効化されているとき、スタートスバーに **F** が表示され、デバイスの LED インジケータが青色に点灯します。この機能は 38 キーモデルにはありません。

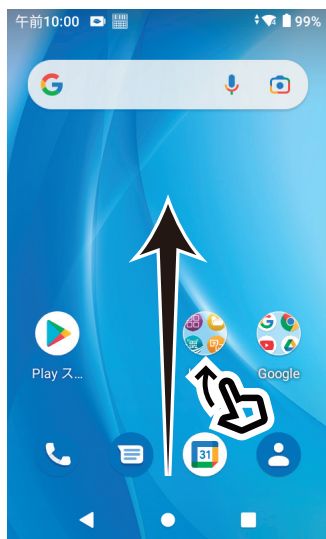


キー	 + キー
P1	F11
P2	F12
1	F1
2	F2
3	F3
4	F4
5	F5
6	F6
7	F7
8	F8
9	F9
.	*
0	F10
ESC	#
BS	 - (ボリューム ダウン)
	 + (ボリューム アップ)

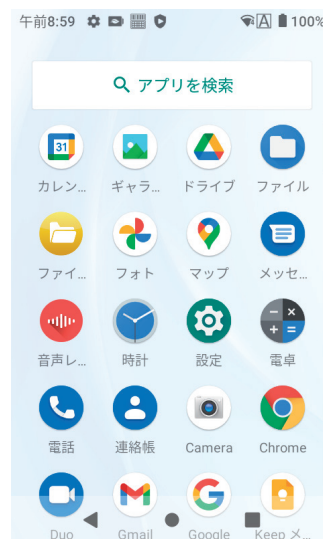
第4章 機能と操作

4.1 アプリ一覧画面

デバイスにインストールされているすべてのアプリは、アプリ一覧画面（または「ドロワー画面」）に表示されます。アプリ一覧画面は、ホーム画面を下から上に向けてスワイプすると表示することができます。



《ホーム画面》



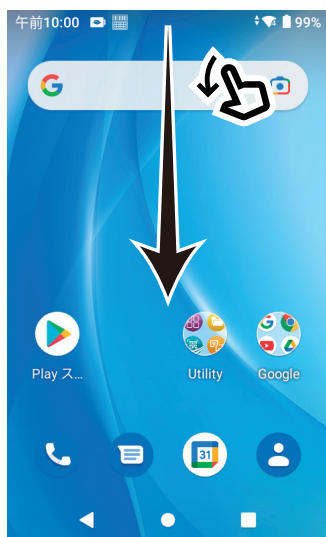
《アプリ一覧画面》

4.2 ステータスバー

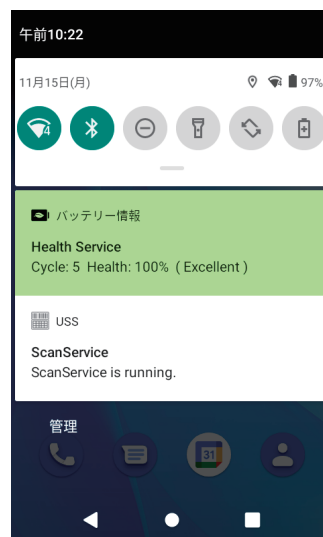
ステータスバー（または「通知バー」）は、デバイスの状態や通知の有無をアイコンで表示します。デバイスの状態を表すアイコンはバーの右側、通知を表すアイコンはバーの左側にそれぞれ表示されます。

4.3 通知パネル

通知パネル（または「通知ドロワー」）では、ステータスバーに表示される通知アイコンの詳細を確認することができます。通知パネルは、ステータスバーを上から下に向けてスワイプすると表示されます。



《ホーム画面》

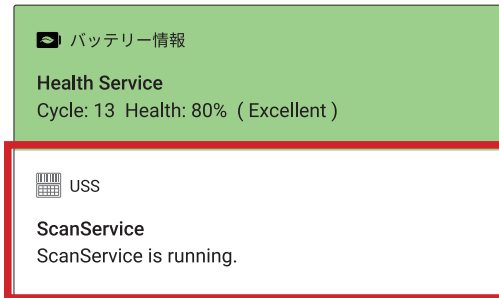


《通知パネル》

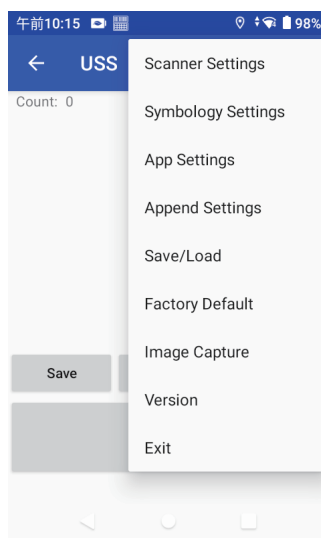
4.4 バースコードスキャン

4.4.1 バースコードスキャナの設定

バースコードスキャナの設定、または読取りテストを行うには、アプリ一覧画面から [⚙️ 設定] → [📊 USS] をタッチするか、通知パネルの **USS** をタッチして「USS (Unitech Scan Service)」を実行します。



USS 画面の [⋮] をタッチすると、バースコードスキャナの設定にアクセスできます。それぞれの設定の詳細は、別冊の「USS ユーザーマニュアル」をご覧ください。



設定項目	説明
Scanner Settings	読取りに関する設定
Symbology Settings	バースコードに関する設定
App Settings	USS に関する設定
Append Settings	データフォーマットに関する設定
Save/Load	設定のインポート / エクスポート
Factory Default	設定の初期化
Image Capture	画像キャプチャモード
Version	USS のバージョン
Exit	USS の終了

4.4.2 バースコードスキャナのデータ送信先

バースコードスキャナで読み取ったバースコードのデータは、USS の設定によって2つの方法のいずれかで送信されます。[USS] → [⋮] → [App Settings] → [Scan to key] が Enable のとき、データはキーボードバッファに送信されます。Scan to key が Disable のとき、データはintentで送信されます。

キーボードバッファに送信されたデータは、キー入力（またはコピー & 貼り付け）として受け取ることができます。とくに特別なプログラミングは必要なく、ほとんどのユーザーがそのまま利用できます。

intentで送信されたデータは、データを受け取りたいアプリケーションに、intentを受け取るための特別なプログラミングが必要です。そうでなければ、送信されたデータは、どこにも表示されません。

4.4.3 バーコードスキャン

USS画面内の[Start Scan]ボタンをタップするか、デバイスのトリガーボタンを押すか、ガングリップ(オプションアクセサリ)のトリガーを引くと、バーコードスキャナは読み取りを開始します。

4.5 NFC 設定

NFC の読み取りを有効化または無効化するには、アプリ一覧画面から [ 設定] → [ 接続済みの端末] → [接続の設定] → [ NFC] のスイッチを ON または OFF します。NFC が ON のとき、IC タグをデバイスの NFC アンテナ部分に近づけて読み取ります。読み取ったデータを表示するには専用のアプリが別途必要です。

4.6 モバイルネットワーク設定

デバイスの電源を切って、25 ページの「2.9 Micro SD/Nano SIM カードの使い方」を参考に nano SIM カードを挿入し、再びデバイスの電源をいれます。

アプリ一覧画面から [ 設定] → [ ネットワークとインターネット] → [ モバイルネットワーク] → [Advanced] → [Access Point Names] へ移動し、適切な APN を選択してください。使用したい APN が存在しない場合は、[+] をタッチして新しい APN を作成し、[⋮] → [保存] をタッチして保存します。

注意 HT730 は、3G/4G LTE の国内認証を取得しておりませんので、SIM カードを使用したモバイル通信を行うと、電波法によって罰せられます。モバイル通信について、ご興味がある場合は、ユニテック・ジャパンの担当者 (info@jp.ute.com) へご相談ください。

4.7 Wi-Fi 設定

Wi-Fi の設定を行うには、アプリ一覧画面から [ 設定] → [ ネットワークとインターネット] → [ Wi-Fi] のスイッチを ON にし、[ Wi-Fi] をタッチして表示されるネットワーク一覧から、接続希望のネットワークをタッチして必要な情報を入力して接続します。接続希望のネットワークが一覧に表示されていない場合は、[+ ネットワークを追加] を使用して、任意のネットワークを追加することが出来ます。

4.7.1 ランダム MAC アドレス

MAC アドレスフィルタリングを行っている環境など、特定の Wi-Fi ネットワークに接続できない場合、ランダム MAC アドレスの機能が原因の可能性があります。次の手順で、Wi-Fi のランダム MAC アドレスを無効化することができます。[ 設定] → [ ネットワークとインターネット] → [ Wi-Fi] に進んで、対象の SSID をタップして [ネットワークの詳細] を表示し、[▼ 詳細設定] → [ プライバシー] をタップし、[デバイスの MAC を使用する] を選択します。

4.8 Wi-Fi 詳細設定

Wi-Fi 詳細設定は、無線ネットワークのローミング動作の変更および、Wi-Fi の消費電力を制御するための省電力モードを提供します。Wi-Fi 詳細設定は、ユーザーがシームレスなローミングを管理するのに役立ちます。

Wi-Fi 詳細設定を行うには、アプリ一覧画面から [ 設定] → [ WLAN Advanced] をタッチして実行します。WLAN Advanced 画面では、下部の [設定] ボタンタッチして現在の設定を保存します。

4.8.1 Power Save Mode

チェックボックスをタッチして有効と無効を切り替えます。有効のとき、Wi-Fi モジュールを最適な消費電力設定にセットします。無効にすると、Wi-Fi の通信性能は強化されますが、バッテリーでの動作可能時間が通常よりも短くなります。

4.8.2 Roaming Trigger

デフォルト : -76 dBm、範囲 : -10 dBm ~ -120 dBm

Roaming Trigger とは、クライアントが無線接続を維持する上で必要な信号強度 (単位 : dBm) を示します。しきい値を下回ると、指定された差分 (Roaming Delta) レベル以上の信号強度を持つアクセスポイントをローミング対象として探します。

4.8.3 Roaming Delta

デフォルト : 3 dBm、範囲 : 0 dBm ~ 30 dBm

Roaming Delta とは、クライアントがローミング対象とするアクセスポイントの信号強度の差分を示します。値が 3 dBm の場合、信号強度が -76 dBm のときにスキャンを開始すると、ローミング対象は、-73 dBm 以上の信号強度を持ったアクセスポイントになります。

4.8.4 Roaming Scan Period

デフォルト : 0 ミリ秒、範囲 : 0 ミリ秒 ~ 60000 ミリ秒

Roaming Scan Period とは、クライアントがローミング対象のアクセスポイントのスキャンを開始してから、別のアクセスポイントへ移動するまでの時間を示します。ローミング開始前に、少なくとも Roaming Scan Period の期間は、以前のアクセスポイントとの接続を維持し続けます。

4.8.5 その他のオプション

WLAN Advanced 画面の [] をタッチすると、WLAN Advanced のその他のオプションを表示することができます。その他のオプションでは、WLAN Advanced 設定の [インポート]、[エクスポート] または [初期化] を行うことが出来ます。[について] は、WLAN Advanced のバージョンを表示します。[終了する] をタッチして、WLAN Advanced 画面を閉じることができます。

4.9 Bluetooth 設定

Bluetooth を有効化または無効化するには、アプリ一覧画面から [⚙️ 設定] → [📶接続済みの端末] → [接続の設定] → [📶 Bluetooth] のスイッチを ON または OFF します。Bluetooth が ON のとき、[+ 新しいデバイスとペア設定する] をタッチすると、周辺の Bluetooth 機器が表示されます。接続したい機器をタッチしてペアリングしてください。

4.10 GPS 設定

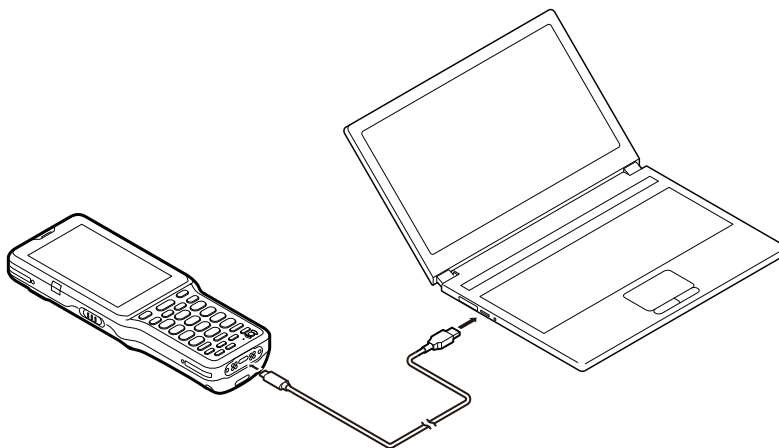
位置情報の使用を有効化または無効化するには、アプリ一覧画面から [⚙️ 設定] → [📍 位置情報] → [位置情報の使用] のスイッチを ON または OFF します。

位置情報の精度を上げるため、[Wi-Fi のスキャンと Bluetooth のスキャン] および [Google 位置情報の精度] を使用することができます。これらの機能を使用するとデバイスのバッテリー駆動時間に影響を与えます。

4.11 USB 接続設定

PC とのファイルの送受信を行うには、次の手順で設定を変更します。

1. USB Type-C ケーブルを使用して、PC の USB ポートとデバイスの USB-C ポートを接続します。



2. アプリ一覧画面から、[⚙️ 設定] → [📶接続済みの端末] → [📶 USB] をタッチし、USB の使用の項目を希望の動作（ファイル転送等）に変更します。

4.12 カメラ

カメラを使用するには、アプリ一覧画面から [📷 Camera] をタッチします。はじめて起動すると、Camera アプリへの位置情報権限の付与についてのダイアログが表示され、続いて、設定の簡単な説明が表示されます。

4.12.1 シーンモード

[…] をタッチしてプリセットされたシーンモードを選択します。

4.12.2 フィルターエフェクト

[

4.12.3 フラッシュ

[ 自動]、[ 常にオン]、[ 常にオフ] を切り替えます。

4.12.4 詳細設定

[

4.12.5 カメラ撮影

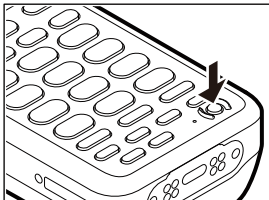
[

4.12.6 ビデオ撮影

[

4.13 ハードウェアリセットの実行

ターミナルがフリーズした場合（ボタンやスクリーンのタップに応答しなくなった場合）、電源ボタンを約 10 秒間押し続けるとシステムを強制的にシャットダウンして再起動します。



4.14 工場出荷標準値にリセット

ターミナルを工場出荷標準値（ご購入時の状態）に戻すには、アプリ一覧画面から [ 設定] → [ システム] → [ 詳細設定] → [ リセットオプション] → [すべてのデータを消去（出荷時リセット）] → [すべてのデータを消去] → [すべてのデータを消去] の順に操作します。

4.15 キーリマップ

デバイスのキーは、ユーザがさまざまな機能やアプリケーションを実行できるように、キーリマップ機能を使用して任意にプログラムすることができます。キーリマップ機能に対応するキーとして次の6つのキーがあります。

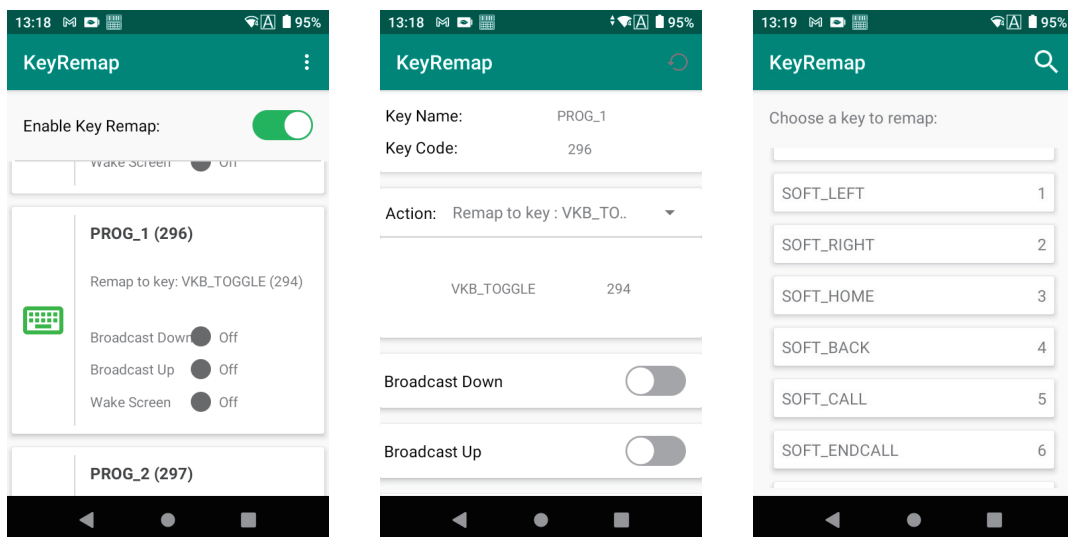
KeyRemap での名称	キー
SCAN_LEFT	スキャンボタン（左）
SCAN_RIGHT	スキャンボタン（右）
SCAN_KEY	スキャンボタン（正面）
PROG_1	P1
PROG_2	P2
TRIGGER_GUN	ガングリップ（オプションアクセサリ）のスキャンボタン

4.15.1 キー機能の変更

キーリマップ機能を使用するには、アプリ一覧画面から [🔑 KeyRemap] をタッチして実行し、[Enable Key Remap:] のスイッチを ON にします。その後、キー機能を変更したいキーを選択し、希望の動作に変更します。

たとえば、P1 キーを HOME に再割り当てするには、次の手順で操作します。

1. Enable Key Remap のスイッチを ON にし [PRG_1 (296)] をタッチします
2. [Action:] をタッチし [Remap to key] を選択します。下に表示される現在割り当てられている機能をタッチし、機能キーのリストから [SOFT_HOME] を探してタッチします。



4.15.2 キーリマップ構成ファイルのエクスポート

現在のキーリマップの状態を構成ファイルとして保存するには、KeyRemap 画面の [⋮] → [Export] をタッチします。常にルートフォルダに [keys_config.txt] としてエクスポートされます。

4.15.3 キーリマップ構成ファイルのインポート

既存の構成ファイルから設定を復元するには、KeyRemap 画面の [⋮] → [Import] をタッチします。常にルートフォルダの [keys_config.txt] をインポートします。

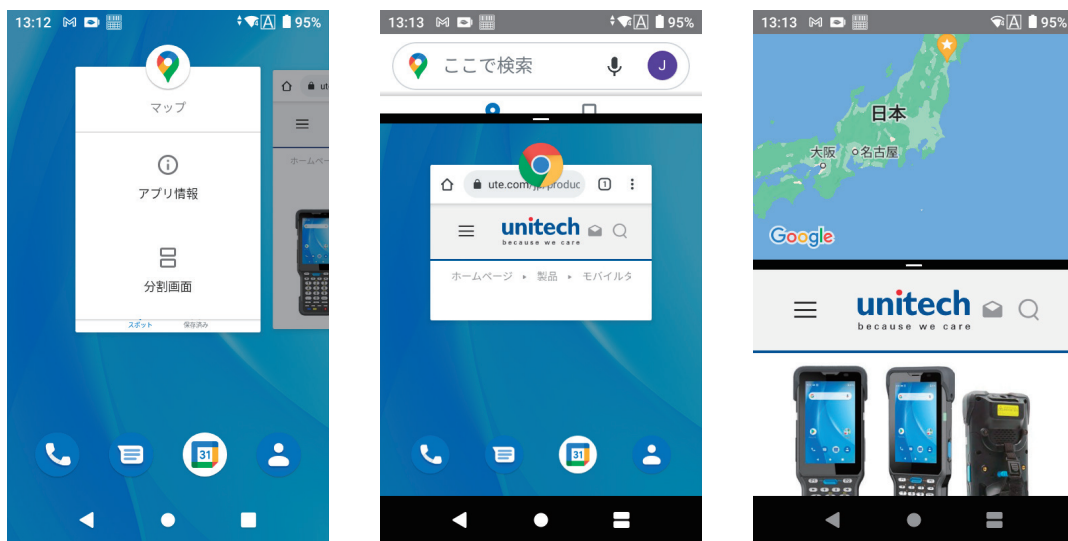
4.15.4 キーリマップのすべての設定を初期化

すべての設定を初期化するには、KeyRemap 画面の [⋮] → [Reset All Settings] をタッチします。

4.16 スクリーンの分割

画面分割機能を使用すると、2つのアプリを同じ画面上で並べて動作させることができます。手順に従って、画面分割マルチタスクを有効にします。一部のアプリは分割画面で動作しない場合があります。

- 画面下部の [■] をタッチして、バックグラウンドアプリを表示させます。
- 分割表示したいアプリのサムネイルの上に表示されている [アプリアイコン] → [画面分割] をタッチすると、画面上部にそのアプリが表示されます。
- 続いて、下部に表示したいアプリのサムネイルをタッチすれば完了です。分割画面を解除したい場合は、中央の分割線をドラッグし、片方のアプリをフルスクリーンまで広げてください。



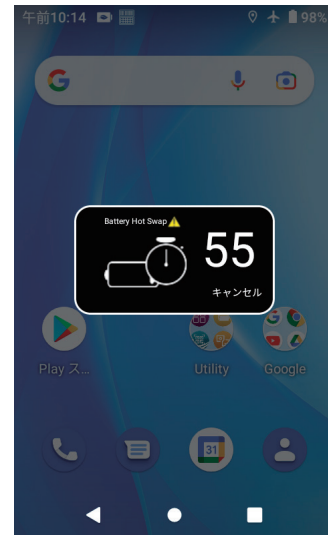
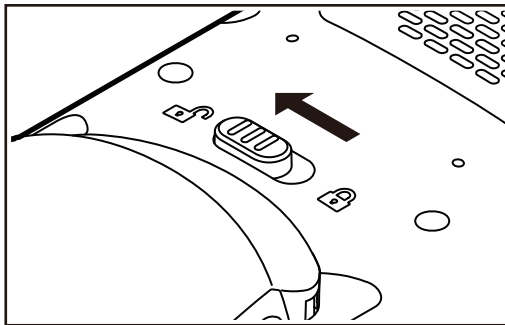
4.17 NTP サーバー

NTP（ネットワークタイムプロトコル）は、ネットワークを介して時計を同期するために使用されます。ユーザが任意の NTP サーバーに接続する機能を提供します。

接続する NTP サーバーを変更するには、アプリ一覧画面から [⚙️ 設定] → [⌚ NTP サーバー] → [✎ ユーザー定義の NTP サーバー] に任意の NTP サーバーを入力し、その後 [⌛ 時間を直ぐに更新] を実行してください。

4.18 バッテリースワップ

バッテリースワップとは、デバイスの電源を入れたままバッテリーを交換することができる機能です。バッテリースワップを行うには、まずバッテリーカバー・リリースラッチのロックを解除します。ロックを解除すると、デバイスの画面にカウントダウンが表示されます。カウンターが0になる前にバッテリーを交換しバッテリーカバーを取り付けロックします。



4.19 グローブモード

グローブモードは、軍手などの手袋をはめた状態で操作できるようにするモードです。すべての手袋に対応できるわけではありませんので、ご注意ください。

グローブモードに変更するには、アプリ一覧画面から [⚙️ 設定] → [👤 ユーザー補助] → [Touch Pad Sensitivity] を [glove mode] に設定します。元に戻したい場合は [finger mode] を設定します。

第5章 アプリケーションの概要

5.1 USS

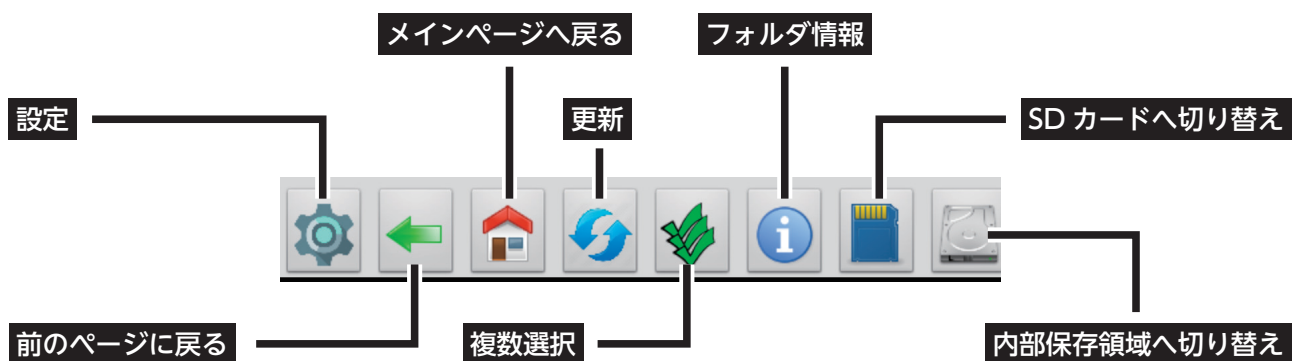
USS (Unitech Scanner Service) については、33 ページの「4.4 バーコードスキャン」および、別冊の Unitech Scan Service ユーザーマニュアルを参照してください。

5.2 ファイルマネージャー

デバイスのファイル操作のため、ファイルマネージャーが提供されています。ファイルマネージャーを実行するには、アプリ一覧画面から [📁 ファイルマネージャー] を実行してください。

シングルタップで、選択または実行を行います。

ロングタップで、[削除]、[名前の変更]、[コピー]、[切り取り] を行うポップアップメニューが表示されます。画面上部に表示されているアイコン群の説明は次の通りです。



5.3 Software Update

ユニテックアプリの更新を行うため、Software Update が提供されています。Software Update を実行するには、アプリ一覧画面から [🔧 Software Update] → [CHECK UPDATE] → 更新するアプリを選択して [UPDATE] を実行してください。

5.4 StageGO

StageGO は、Unitech モバイルデバイス向けの設定ステージングソリューションです。StageGO は、IT 管理者がワンクリックの自動設定機能を使用してターミナルをすばやくセットアップおよび初期化するのに役立ちます。ターミナルは、IT 管理者が作成した設定スクリプトファイルまたは QR コードを使用して自分自身を構成します。StageGO アプリは、設定スクリプトファイルをロードするか、ターミナルのバーコードスキャン機能（バーコードスキャナまたはカメラ）を使用してスクリプト QR コードをスキャンして、自己設定プロセスを開始します。

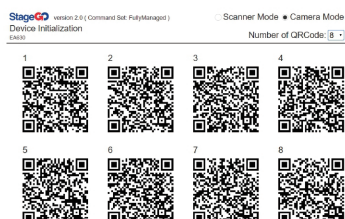
StageGO を使用してデバイスを構成するには、次の 3 つの簡単な手順を実行します。



It all begins with IT staff creating a StageGO Script on the easy-to-use and secure web-based Script Editor. A StageGO script can contain one or more staging commands such as change system settings, connect to WiFi, download files, install apps, or set restrictions, etc.



This is when the script is ready to be transformed into QRCodes and get printed out for distribution to the fields. The QRcodes are always encrypted so that sensitive information such as username and passwords will stay hidden. You can also choose to save your script as an encrypted file and share it with a colleague.



The device user scans all the QRcodes into the StageGO app, or alternatively load script from file. The script will then automatically start to execute. Users will be informed of the progress of the execution, and should any execution errors occur, the execution report can be shared to IT admins for investigation.



ステップ 1. スクリプトの作成

IT 管理者は、Web ベースの StageGO スクリプトエディタを使用して設定スクリプトを作成し準備することができます。詳細は以下のリンクをご確認ください。

<https://www.ute.com/jp/products/detail/1065>

ステップ 2. QR コードを印刷

スクリプトの編集が完了すると、IT 管理者は設定スクリプトファイルを保存するか、スクリプト全体を表す QR コードを作成することができます。印刷された QR コードは、ターミナルのユーザーに手渡されてスキャンされます。

ステップ 3. QR コードをスキャン

IT 管理者から印刷された QR コード（またはスクリプトファイル）を受け取ったデバイスユーザーは、デバイス上で StageGO アプリを実行し、印刷物に記載されているすべての QR コードをスキャンします（またはスクリプトファイルをロードします）。すべての QR コードがスキャンされると、StageGO はセルフコンフィグレーションを開始する準備が整います。また、StageGO はワンクリック自動構成用に設定することもできます。

StageGO アプリを実行するには、アプリ一覧画面から [ StageGO] をタッチしてください。

5.5 MoboLink

MoboLink は、サポートされるユニテックモバイルデバイスのアプリケーションをリモート管理するためのソフトウェアプラットフォームです。MoboLink は、MDM(モバイルデバイス管理)、MAM(モバイルアプリケーション管理) 領域の機能を中心に、アラート通知管理、アカウント管理などの管理機能を備えています。実際のご利用には、MoboLink サーバーの導入（クラウド、オンプレミス）が必要です。詳細は、以下のリンクをご確認ください。

<https://www.ute.com/jp/products/detail/1070>

MoboLink クライアントを実行するには、アプリ一覧画面から [**M** MoboLink] をタッチします。

第6章 その他の情報

6.1 システムアップデート

機能の追加、バグフィックス、セキュリティパッチなどを含む新しいシステムバージョンを適用させるには、アプリ一覧画面から [ 設定] → [ システム] → [ 詳細設定] → [ システムアップデートセンター] を実行します。

インターネット接続がある場合は、自動的に最新のリリース情報を取得し、更新がある場合はダウンロードとインストール (任意) を行います。インターネット接続が無い場合は、[] → [OTA ファイル選択] を使用してローカルアップデートを行うことが出来ます。更新用の OTA ファイルはユニテックの担当者や販売代理店から入手してください。

リリース情報の通知は行われませんので、必要な場合は、定期的に [ システムアップデートセンター] を実行して確認してください。

6.2 アプリ固定

1 つのアプリを画面にピン留めして、他のアプリなどへのアクセスを抑制するには、アプリ一覧画面から [ 設定] → [ セキュリティ] → [画面の固定] → スイッチを ON に変更し、次に画面下部の [] をタッチして、バックグラウンドアプリを表示させ、ピン留めしたいアプリのサムネイルの上に表示されている [アプリアイコン] → [ 固定] → [はい] をタッチします。

固定化を解除するには、画面下部の [] と [] を押し続けます。

6.3 nowelcome.txt

nowelcome.txt のファイル名で作成した空のテキストファイルを、マイクロ SD カードのルートディレクトリへコピーしてデバイスにセットしておく、と、初期化後のセットアップ (言語、時計、Wi-Fi など) をスキップすることができます。

6.4 スクリーンショットの撮影

スクリーンショットを撮影する方法として2つの方法が提供されています。

■ ソフトウェア

Android OS の実行中にデバイスの電源ボタンを長押しして表示されるポップアップメニューから [ 画面の保存] をタップします。



■ ハードウェア

対象のモデルによって次の操作を行います。

モデル	操作方法
29 キー	キーを押してステータスバーに F が表示されている状態で、 (BS) と を同時に押し続けます。
38 キー	キーを押してステータスバーに A が表示されている状態で、 (TAB) と を同時に押し続けます。

6.5 OS 言語の変更

アプリ一覧画面から [設定] → [システム] → [言語と入力] → [言語] から、言語の追加、削除、変更を行うことができます。複数言語の切り替えに対応していない設定項目やアプリ内の文字を切り替えることはできません。

6.6 開発者向けオプション

開発者向けオプションを表示するには、アプリ一覧画面から [設定] → [デバイス情報] → [ビルド番号] を7回タップします。その後 [設定] → [システム] → [詳細設定] → [{ } 開発者向けオプション] が表示されます。

6.7 セーフモード

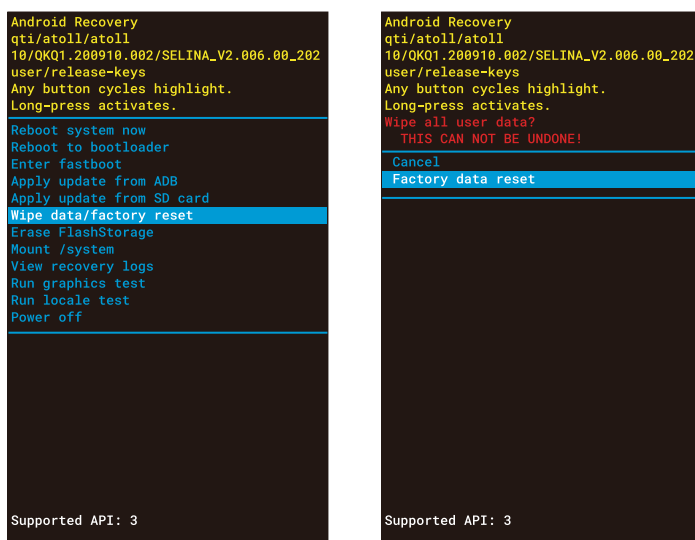
セーフモードは、インストールしたアプリを無効化して初期状態で起動することができます。動作が不安定になったときなど、セーフモードで起動して動作が改善されれば、インストールしたアプリに原因があると判断が出来ます。セーフモードで起動しても改善しない場合は、アプリが原因ではありません。

セーフモードで起動するには、電源ボタンを長押しして [電源を切る] または [再起動] をロングタップします。セーフモードに関する情報が表示されますので [OK] をタッチします。セーフモードを解除するには、単にデバイスを再起動して下さい。

6.8 リカバリーモード

セットしたパスワードを忘れた場合など、Android OS を起動せずに端末を初期化したい場合、次の手順で端末の初期化を行うことができます。

1. デバイスから USB ケーブルを取り外します。
2. 電源ボタンを長押し→[電源を切る]または、バッテリーを取り外してデバイスの電源を完全にオフします。
3. デバイスの [ P1] キーと [] キーを、android ロゴが表示されるまで同時に押し続けます。android ロゴが表示されたら、双方のキーを解放します。
4. 通常と異なる黒背景に文字だけの画面で起動したら、「Wipe data/factory reset」を選択して実行します。続いて「Factory data reset」を選択して実行します。「Factory data reset」後は操作の取り消しはできませんのでご注意ください。



[ ENT] キーおよび [] キーは「実行」、それ以外のキーは選択箇所の移動 (ダウン) となります。

5. Wipe data 完了後は元の画面に戻りますので、「Reboot system now」を選択してそのまま再起動を行うか、「Power off」を選択してデバイスの電源を切ります。

unitech
because we care

ユニテック・ジャパン株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川 1-5-19 茅場町長岡ビル 8F

<https://www.ute.com/jp>

